【実施区域・面積】
愛知県名古屋市名東区、
65.08ha

【生態系タイプ】
里山林、人工林、水田、湿地、湖沼

【実施区域の状況】
本区域は、雑木林、人工林、竹林、棚田、ため池、湿地などが複合的に存在する都市内の広域緑地であり、希少種が確認されている。里山利用の歴史を背景に、市民活動や自然観察の拠点としても機能している。

【目標】
都市近郊に残された多様な生物の生息・生育環境を将来にわたって良好な状態で維持・再生しつつ、地域住民が自然とふれあいながらその恩恵（生態系サービス）を享受し続けられる、健全で持続可能な里山的環境の創出・継承

【主な活動内容】
雑木林等での間伐・除伐による管理・保全、湿地・ため池の維持管理（堆積除去、水位管理等）、外来種の駆除作業、緑地全域の整備（除草、芝刈、清掃等）、市民参加型自然観察会の実施。

【モニタリング計画】
踏査による動植物調査（毎年通年で実施）
塚の杁池の水位操作に伴う水質および動植物調査
アプリを活用した市民による動植物調査

【実施体制】
名古屋市
名東自然倶楽部
なごや生物多様性保全活動協議会





【計画期間】
2026年 3月～2031年 3月